

2 九州ふるさとの森づくり

地域の皆さまと一緒に「九州ふるさとの森づくり」を各地で展開しています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) **九州ふるさとの森づくり**

「九州ふるさとの森づくり」は、当社創立50周年を記念して2001年度から取り組んでいる植樹・育林(下草刈)活動であり、低炭素社会実現への寄与や生物多様性の保全を目的として九州各地で展開しています。2013年度は、約3千7百名の皆さまのご協力により、16か所でボランティアによる育林活動などを実施しました。

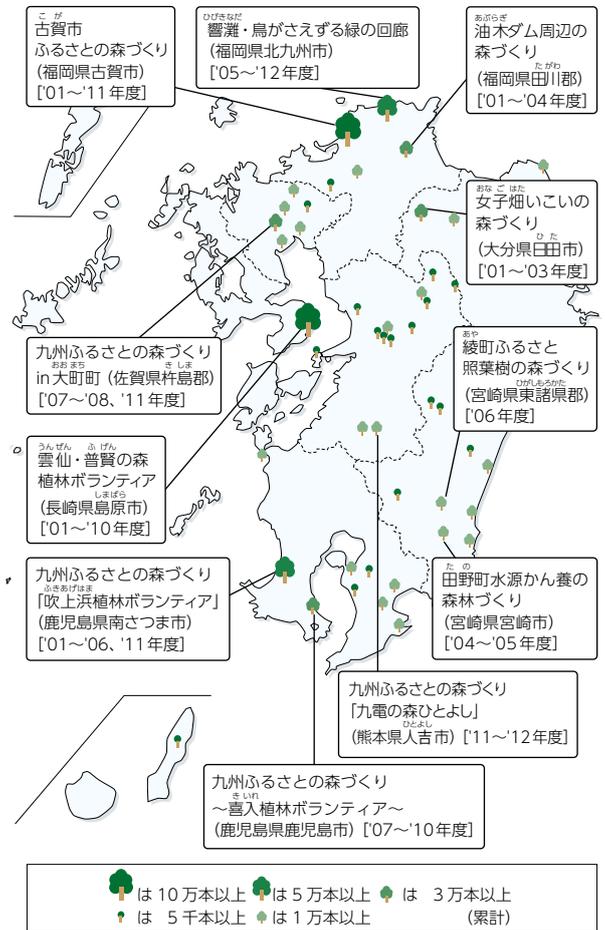
なお、これまでの13年間でおおよそ117万本を植樹し、延べ約14万人の方々にご参加いただきました。

活動実績 (2013年度)

	地区	計画名	参加者数(人)
※植樹活動	北九州	響灘・鳥がさえずる緑の回廊 第9回植樹会	1,500
	福岡	森と海の再生交流事業 植樹祭	210
育林活動	佐賀	「ふるさとの森づくりin白石町」育樹作業 「ふるさとの森づくりin大町町」育樹作業	260
	長崎	「九電みらいの森」下草刈 ボランティア	200
	その他	「古賀市ふるさとの森づくり(福岡)」 など、九州各地12か所で下草刈を実施	1,530
合計	16か所 (植樹2か所、育林活動14か所)		3,700

※当社からは苗木提供せず、社員によるボランティア参加のみ

これまでの主な植樹箇所 (累計5,000本以上)



用語集を ご覧ください

- 低炭素社会
- 生物多様性
- 水源涵養

■ その土地本来の樹種による密植・混植を基本とした森づくり

その土地本来の森は、豊かな生物多様性を維持し、水源涵養、土砂災害の防止、保健休養の場の提供など、様々な公益的機能を果たしています。「九州ふるさとの森づくり」では、将来的に人の手があまりかからない、九州の自然植生であるシイ・タブ・カシ類を中心とした、その土地本来の樹種による森づくりを行っています。

また、より早く、その土地本来の森が形成されるように、密植(1m²あたり2~3本程度植樹)・混植(複数の樹種の組み合わせ)を基本とする植樹に取り組んでいます。この方法を採用した植樹地の多くが、密植・混植を行わなかった箇所以上の生育を見せており、年を経るにつれ、その効果が現れています。



植樹時



12年後 (古賀市ふるさとの森づくり (福岡県古賀市))

■ 育林活動

植樹した苗木の成長を助けるため、植樹後3年程度、育林活動(苗木の周りの下草刈)を地域の皆さまと一緒に進めています。



「ふるさとの森づくりin大町町」育樹作業 (佐賀県杵島郡)